



素敵なものや好きなことなら
なんでも知ってるつもりでも
苦手なものまでわからなければ
いつかピタリと止まってしまう



好きを伝えることよりも
嫌いを伝える言葉のほうが
きっと静かで繊細で
ふんわり舞うほどやわらかい



なんとか受け入れるんじゃなく
どうにか乗り越えるでもなく
できないことはできないままに
見えなくなるまで逃げてみる



遠くにいけばいけるだけ
それは欲しい人の手に届き
いつかはっとするような
虹色の弧を描くから



苦手なものはなんだろう

苦手な者は誰だろう



良いものを嫌う幼さを

そのまんま

このまんま